

ヨリドリMinato



港区で地域のために活動している“たより”になる人の紹介や地域のお勧めの場所“よりどころ”など“ヨリドリミドリ”な情報を港区社協の生活支援コーディネーターがお届けします！



ゆうゆうクラブ

活動内容

60歳以上の男性によるボランティアと生きがいづくりのグループ。

『ゆうゆうクラブ』の名前の由来は、悠々自適の「悠」、遊びの「遊」、友人の「友」。

子ども向けの工作の指導や車いす介助、ふれあい喫茶の手伝いなどのボランティア活動をしています。

また、グラウンドゴルフやカラオケ大会、講師を招いての勉強会もしています。

男性が活躍する「ボランティア」と「集い」の場

結成のきっかけは、平成21年に港区社協で開催された「セカンドライフ講座」でした。受講者同士が意気投合し、講座終了後も集まりたいという声が多く寄せられ、クラブが立ち上げられました。

毎月の定例会では、ボランティア活動について話し合うだけでなく、グラウンドゴルフの話題やコーヒーを飲みながら雑談を楽しむなど、メンバー同士の交流を深める場ともなっています。

メンバーの中には、「cafe de ひまわり」で珈琲

を淹れたり、港区社協の草花のお世話をしている方もいます。また、「区民まつり」や港区社協主催の「ふれあい福祉のひろば」に出展し、祭りを盛り上げていただいています。

代表の岸本さんは、「活動することで、定年後に外に出るきっかけとなっています。興味を持たれた方は、ぜひ一度、見学にお越しく下さい」と語っています。「ゆうゆうクラブ」ではただいまメンバー募集中です。あなたも参加してみませんか。



メンバーみんな男前！



毎年出展してます！



みなとくの ヨリどころ

港区で居心地の良い居場所を紹介します！

cafe de
ひまわり



**さまざまな企画の開催や
他団体とコラボするカフェ**

港区社会福祉協議会では、毎月第3水曜日に1階入り口横の「ふくかふえ」を、「cafe de himawari」を開催しています。このカフェは、毎回、楽しみに参加してくれる方や港区社協に來られる方の集える場となっています。

「cafe de himawari」では、さまざまな企画が行われています。障がい者作業所で手作りされたお菓子や手編みボランティアによる手づくり品の販売、認知症の正しい知識を学ぶ講座の開催、さらに、懐かしの歌謡曲を飛び入りで披露される方も。どんな企画ともコラボできる開かれた雰囲気、cafe de himawari」の特徴です。



つくしの会の手づくり用品の販売



港第二育成園の焼き菓子販売

つながりを大切に 活動を続ける

「ふくかふえ」は、9年前にボランティアの活動スペースとして設置され、当時の運営委員が中心となり「cafe de himawari」がスタートしました。「cafe de himawari」の代表である古島さんは、「港区社協に相談に來られた方がここを知って、リピーターになる方も多かったです。逆に、カフェで話を聞いた後に港区社協に相談をつなげることもあり、ボランティア同士の情報交換の場としても利用されていて、さまざまな人が立ち寄り、一息つける場所になっています。コロナ禍でも、つながりを大切にするために屋外のスペースで

「ソトカフェ」を開催し、活動を続けてきました。また、隔月で「おやじカフェ」を開催し、男性ボランティアの活躍の場にもなっています。



男性の居場所にもなっています

cafe de ひまわり

毎月第3水曜日

11:00~13:00

港区社会福祉協議会
1階「ふくかふえ」

料金：100円

「ここに來れば大丈夫」と 思える場所に

古島さんから、今後について「ここに來れば大丈夫!と思える場所をめざしています。皆さまもぜひ一度、「cafe de himawari」にお越しください。

